

【第8期】第7回柳瀬川・空堀川流域連絡会

全体会議事録

■開催日時・会場

日時：平成29年11月20日（月） 14：00～16：10

会場：北多摩北部建設事務所 3階第5会議室

■出席者

都民委員8名／団体委員4名／行政委員11名／事務局等5名

■議事要旨

【第6回議事の確認】

※事務局が、第6回流域連絡会での主な議事内容について、以下のとおり報告を行いました。

- ・最初に、平成29年7月、8月の大雨の状況をグラフにしてご説明しました
質疑応答を行い、水位のデータも重ねて見せてほしいというご要望をいただきました
- ・今後の進め方について、前々回、最終的に「座長・副座長・事務局に一任」「次回もう一度議論した方がいい」の二つの意見が出たので再度議論をした結果、以下のような意見が出ました
 - やり方よりもテーマをしっかりと決めた方がいい
 - 水量確保が最重要テーマだが、河川環境の話も必要ではないか
 - それぞれ地域で情報を持っているので、分科会の方が意見が出やすいのではないか
 - 市単位の分科会で、それぞれの問題を話し合っ、最後に全体で取りまとめてはどうか
 - 水循環のような大きなテーマは、流域連絡会の枠ではなく、協議会を作って議論すべきだが、現状ではなかなか難しい、地域ごとの分科会とは別に、または有志で、協議会に向けた準備会の話をしてもいいのではないか
 - 第7期のまとめ「空堀川の将来像」も重要だ
 - 分科会での議論の際に、各市流域の地図があった方がいい
- 結論：今回は地域ごと（清瀬、東村山、東大和+武蔵村山）の三つの分科会に分かれた形での意見交換を始めてみます
- ・最後に、都民委員から資料提出があり、内容についてご説明いただきました

【平成29年7月～8月 大雨と河川水位の記録について】

※事務局が、資料-5に基づき以下のとおり概要説明を行いました。

- ・前回、大雨のデータのご報告をしたが、それに今回、空堀川流域の水位のデータを重ねてみました
- ・観測所は、上流の武蔵村山市内は残堀川の青岸橋（雨量）と神明橋（水位）、次は奈良橋川の合流点の東大和（雨量）と高木橋（水位）、東村山市の東村山（雨量）と丸山橋（水位）と青葉町（水位）、下流の清瀬市内は中里（雨量）、中里（水位）、それから柳瀬川合流点の下流の清瀬橋（水位）の10箇所
- ・前回の報告でグラフ化した4日分に、8月30日のデータも追加した。雨量は前回報告どおりで、

それに対してどのように水位が変化したかが見て取れます

- ・7月4日、東大和では時間最大雨量57mm降っているが、ピークは8時30分～40分で、高木橋の水位は10分～15分遅れて上がっています。下流に向かって雨雲が動いているような降り方なので、水位のピークも下流の方が時間的に後ろにずれます。清瀬橋は、水位の変動量としては2m以上で最も大きいですが、二つの川が合流した後で、流量が多いのでそういう傾向があるのではないかと思います
- ・同じく7月4日で、上がり方が顕著なのは丸山橋で、その上流の東村山と東大和で、ピンポイントでどちらも50mm近く降っているため、ここでも2m程度水位が上がっています
- ・7月18日も、雨量は同じような傾向で、下流の清瀬橋の辺りで一気に水位が上がっています
- ・7月25日は、10分間で25mm、その前後20～30分間降るといいますが、上がった水位は意外と滑らかに下がっています。中里だけは少しだらだらと下がるイメージですが、傾向としては同じ
- ・8月19日は、他と比べると雨量が少なめなので、水位の上がり方も、丸山橋でも1mちょっと、最下流の清瀬橋でも他の日に比べれば少ない
- ・追加した8月30日は、流域ではそれほど激しくは降っていませんが、それでも東大和で時間最大雨量42mm、一番顕著なのは中里で、10分間では10数mmですが、長く降って時間最大雨量70mm以上で、その前の20分も降っていますので、清瀬橋での水位上昇が、この資料の中では一番大きくなっています
- ・平成29年7月～8月で一番水位が上がったのは、丸山橋と中里では7月4日、他の4箇所（神明橋、高木橋、青葉町、清瀬橋）では8月30日、と記録されています
- ・データを整理してみたところ、降雨に対して水位の上がり方にはこのような傾向がありました

(都民委員)

ここに水位が出ているんですが、計画高水位と余裕高は、この余裕高は60cmですよ。

(事務局)

60cmか80cmです。

(都民委員)

80cmはどこですか。

(事務局)

80cmは、この区間では一番下流の清瀬橋だけです。

(都民委員)

そのラインを入れていただきたいと思うんです。こちらではわからないので。そんなデータは何も持っていないので。

(事務局)

わかりました。溢れそうかどうかということですね。

(都民委員)

私たちも、市民の方から質問を受けたりするんですよ。「実際にどれだけ降って、どこまでいったんですか」、そういう時に、これではちょっと説明が。せつかく作っていただいたので、そこにラインを入れていただければよくわかるんですけど。

(事務局)

わかりました。入れた方が良かったのですが、今回は間に合わなかったのです。

ちなみに、一箇所調べてみたんですが、7月4日の丸山橋はかなり水位が上がっています。ここで護岸高まであと79cmというところでした。

(都民委員)

それは護岸の高さですね、計画高水位ではなくて。

(事務局)

はい。護岸の高さから余裕高を引いたものが、イコール計画高水位ではない時もあるので、その辺はちょっと調べてみないとわかりません。

(副座長)

初歩的な質問ですけれど、水位のグラフの「A. P.」というのを、ちょっと説明してください。

(事務局)

「A. P.」というのは、河川工事の基準として使っている高さ表示で、海拔みたいなものです。高さの単位です。ただし海拔とは基準点（ゼロ）が異なります。海拔は東京湾の平均潮位からの高さで「T. P.」と言うのですが、それに対して「A. P.」は、荒川の河口のところの干潮位、潮位が一番下がった時の高さがゼロという基準点がありまして、そこからの高さになります。都内の河川工事は、東京都であろうと国交省であろうと、すべてこの単位を使っています。絶対値で、標高みたいなものだとご理解ください。

(副座長)

「A」はA r a k a w aの「A」ですね。

(事務局)

「アラカワ・ペイル (A r a k a w a P e i l)」と言います。海拔である「T. P.」より基準点の高さが1.134m下がる。同じ高さを表すと、海拔の数値と「A. P.」の数値とでは、「A. P.」の方が少し大きい、1.134m大きい数値になります。

【平成29年10月 台風21号時の降雨記録〔速報〕について】

※事務局が、資料-6に基づき以下のとおり概要説明を行いました。

- ・10月21日～23日の台風21号による降雨に関する速報データ
- ・観測所は、資料-5にもある青岸橋、東大和、東村山、中里の各市1箇所・4地点
- ・時間最大雨量としては30～40mm。最近は60～70mmが頻繁に記録されるので、今回はそれほどでもなかったと思われるかもしれないが、そうではありません
- ・注目すべきは総雨量で、観測期間は21日夕方から23日朝でピークの時間帯は観測所によって異なるが、台風による雨雲がずっと続いて長く降ったので、上流の青岸橋で250mm、他3地点で概ね300mmの雨量を記録した。1～2日の雨量としてはかなりの量が降りました
- ・長く降ったために川の水位はずっと高く、雨が地下水として涵養されていたのか、空堀川の水が普段よりも長く流れていました

【本年度の工事の状況について】

(座長)

グループ協議の前に、本年度の工事の状況を知りたいというお声がありましたので、本日は資料がなく口頭で申し訳ないのですが、報告させていただきます。

まず柳瀬川から。柳瀬川の金山調節池、前年度、中池を浚渫いたしました。引き続き今年度も、中池と越流堰の間の辺りの浚渫工事を予定しております。1回発注したのですが、不調になってしましまして、今回再起工しております。

続きまして上流の方で、柳瀬川の日向橋という橋が野塩団地の辺りにあります。日向橋の上流は、河道が90度くらい曲がっているような感じなのですが、河床洗堀が著しい箇所ございまして、護床工事を実施する予定です。

さらに上流で、先ほど申しました所沢街道の二柳橋の上流右岸、台風21号で護岸が30m崩れましたので、その箇所の本復旧工事。応急工事は既に済んでおりますが、本復旧工事を実施する予定です。応急復旧につきましては、台風21号のちょうど1週間後に台風22号が来ましたので、台風22号が来る前日までに、なんとか大型土のう積みを終えております。

次に空堀川ですが、柳瀬川の合流点から順次進めております河床整備工事、落差工などを含む工事ですが、この工事についても既に契約済みで、間もなく着手する予定でございます。

その上流では管理用通路の工事で、大沼田橋からふれあい橋の間に、前年度に引き続きまして管理用通路の空き桝に補植を行うと同時に、通路の舗装が傷んでいる箇所もございまして、通路舗装工事も行います。

そこからずっと上流の、空堀川と奈良橋川の合流点。ここも長期間工事をやらせていただいておりますが、なんとか来年1月くらいには工事を完了できそうな見込みで進めております。高木橋の北側で、新たに奈良橋川に北高木橋を架設する工事も含まれておりまして、いくつかの施工ステップを踏みながら、なるべく早期に完了するように進めております。

またそこから少し上流の空堀川で、下砂橋の上流右岸側の旧川整備工事を進めております。こちらの方は順調に工事が進んでおりまして、来年の3月を目途に完了する予定でございます。

さらに上流で、橋梁を含む工事を3件予定しております。1件目が東芝中橋。橋梁の架け替えと上下流の護岸工事で、来年の秋口くらいまでを予定しております。

次にその上流、新中砂橋という橋を旧芋窪街道に架設いたします。その新中砂橋を含む護岸工事も契約済みで、現在、企業者の占有物件の切り回し工事中でございまして、それが終わり次第、河川の工事に入っております。

さらに上流で、武蔵村山市区間に入りますけれども、神明橋の架け替えと護岸工事。この工事は、これから起工予定でございます。一応、3年債務、足かけ3年がかりの工事を予定しております。空堀川については以上になります。

最後に奈良橋川ですけれども、先ほど空堀川との合流点の工事についてお話ししましたが、その上流部分につきましても、今年度中に発注いたします。こちら3年がかりの工事になります。

案内図もなく口頭で申し上げましたが、次回、案内図などをお配りいたします。以上でございます。
(都民委員)

最近、工事情報をちゃんと伝えていただけていないので、もうどんどん進んでいるわけですね。開催回数も少ないので、少なくともそれぐらいは用意していただかないと、我々は何を基準に話をしているのかわかりません。以前は、課長補佐の方にお問い合わせしたら図面をいただけたんです。今は「建設局の公開制度があるから、都庁までパソコンを持って行ってコピーしてください」ということを言われるんですよ。これだって、今おっしゃったような情報だけだと、工事名称もわからないし、物の見ようもないんですよ。私は土木屋ですから生の図面を見てわかりますけれども、やっぱり他の委員の方に、どこでどういう工事があってというのをお知らせしないと、都民に対しての説明責任を果たした

ことにならないんじゃないですか。多額の費用を、年間10億くらい使っているんじゃないですか。
(座長)

そうですね。申し訳ありませんでした。次回には。

(都民委員)

次回になる前に送ってください。次回と言っても、いつ開催されるかわからないし、何か月後かに渡されても、もう工事が終わってしまいますよ。

(座長)

そのようにさせていただきます。

(事務局)

いつからいつまで、こんな工事です、という情報が入ったものですね。

(都民委員)

1工事1枚くらいでいいです。どうしても入らなければ増やしていただいてもいいですけど。

(座長)

わかりました。少し考えさせていただきます。ご要望はわかりましたので。

(都民委員)

誰も今の説明を聞いただけではわかりませんよ、どんな工事なのか。我々が何も知らないうちにいきなり工事が始まってしまって何だろうみたいな、現場の工事看板を見ないとわからないみたいな。それでは、流域連絡会としての意味がなくなってしまいますよ。お願いします。

(団体委員)

一つよろしいですか。柳瀬川の所沢街道のところの護岸が30m崩れたというのは、この図面(資料-7)でいくと、どこからどこまでですか。

(事務局)

資料-7の図面の範囲には入っておりません。流連で議論している範囲で作っております。そこは埼玉との県境を流れているところになります。

(都民委員)

これ(資料-7表紙)でちょっと説明していただけますか。

(事務局)

これで言うと、西武新宿線が東村山の駅から北に向かって行って県境とぶつかる場所の少し下流です。久米川遊水池があるのですが、そのすぐ下流です。

(都民委員)

湾曲していて内側に丸いのがいるのが。

(事務局)

そこが久米川遊水池なんです、その下流になります。

(団体委員)

あと、50mm対応の工事は今どの辺まで進んでいるのですか。

(事務局)

柳瀬川の50mm対応の工事は、空堀川との合流点までです。そこから上流は、埼玉県の間がしばらくありますので、そこが終わって、さらにまたその上に東京都の間があって、また上が埼玉県という、そういう区間割りになっています。

(都民委員)

空堀川でも石田橋の下流で90m掘ったでしょう、その上流側ですよ。

(事務局)

空堀川で、ずっと下流から繋がって終わっているのは、空堀川河床整備工事(その1)(その2)で2回工事を行った石田橋の下流側、そこまでです。今年はその続きを施工します。

(団体委員)

90mというのは終わったのですか、まだですか。

(事務局)

90m、去年の工事は終わりました。なので今年度の工事は三郷橋の下流になります。

(都民委員)

やっぱりそういうことをきちんと教えていただかないと。先ほど口頭で課長さんが説明されたけれど、我々はわかりません。

(座長)

わかりました。案内図をお配りしないで説明したのでわからなかったというのは、おっしゃるとおりだと思います。

(都民委員)

お願いします。

(副座長)

この図面(資料-7)で、どの辺というのはわかりますか。

(事務局)

資料-7の、空堀川01/16という図面の真ん中あたりに石田橋がありますが、今終わっているのはその下流側までです。その上流に三郷橋がありますが、その少し下流までが次の工事区間になります。

(副座長)

これでいくと、東村山に入るのがおよそいつ頃になって、東大和がいつ頃になってというのは。大まかにでも、10年後とか15年後、20年後とか。

(事務局)

現時点ではなんとも。かなり時間がかかると思います。

(副座長)

だから10年、20年という単位、整備が終わるまでには。

【地域別グループに分かれて意見交換】

(事務局)

色々なご質問で予定よりも時間がかかってしまいましたが、これから本日の本題である、グループに分かれての議論、意見交換を、今日から初めての試みになりますけれども、始めさせていただきたいと思います。

まずご相談で、今このように分かれて座っていただいているのですが、隣の話が入ってしまうので、会場を分けた方がよろしいですか、一応もう一部屋は押さえてはいるのですが。この配置でよろしいですか。

(団体委員)

これでいいんじゃないですか。ちょっとくらい聞こえた方が。

(都民委員)

内緒の話じゃないんだし。

(副座長)

内緒の話じゃないのはいいけれど、混乱するような気がするんですよ。皆さんがそれでいいのなら私はいいですけど。以前は、二つの分科会をパーティションで分けてやっていたんですよ。パーティションで分けないと、声が漏れてしまって非常に議論しにくいのではないかなと配慮したんですけど。だから、ここは二つに分けるでしょう、もし会場を分けるとすれば。それから、もう一つが外の別の部屋に入れば。

(団体委員)

ここ以外にも部屋を取ってあるのですか。

(事務局)

はい。それと、この部屋は二つにパーティションを閉めることも可能です。

(副座長)

今まで、そうやって分科会をやっていたでしょう。そっちの方がいいと思いますよ。

(都民委員)

今までは、議論している内容が違うので。今回は、エリアで分けたけれど議論する内容は一緒ですよ。話が違うんじゃないですか。

(副座長)

分科会でやっているのだから、それぞれのところで話し合うんですよ。そうじゃないと分科会の意味がないでしょう。

(都民委員)

いや、別に多少聞こえたって、みんなそんなに大きな声でワイワイやるわけではないんだし。

(副座長)

それは、やってみないとわからない。

(都民委員)

やってみましょう。

(副座長)

だから、どちらでやるか。皆さんよろしければ、このままでずっとオープンでやるんですけど、後になってごちゃごちゃしてしまったらと思い、配慮しているんです。

(団体委員)

このパーティションを引いたらどうですか。

(副座長)

以前は引いてやっていたんですよ。

(団体委員)

半分だけでも、ということで。

(副座長)

入口で議論してもしょうがない。時間がもったいないので進めましょう。

(事務局)

では、半分には分けます。それで、2グループは隣り合って、もしかしたら声の一部通りますけれど。

今日の出席者で、各グループの人数も踏まえて、東京都の行政委員については分かれて各グループに入らせていただきたいと思っていますので、よろしくお願いいたします。

各グループの進め方とか、テーマの絞り方とかは、特に事務局としては決めていませんが、最後に誰かにご報告していただくということも踏まえて、ご相談していただければと思います。よろしくお願いいたします。

※地域別3グループに分かれて意見交換

【全体報告】

(事務局)

すみません、少し時間が押してしまったんですけど、このあと全体で、質疑の時間まではあまりとれないと思いますが、とりあえず報告からお願いします。今日は最初のスタートということで、まだそんな踏み込んだ話はなかったかもしれないですが、簡単にどんな内容か、今度どうするのかとかお話しいただいていると思うので、ご報告いただければと思います。名簿の順で、まず清瀬のグループからでよろしいですか。

(1) 下流：清瀬市グループ

(都民委員)

清瀬を代表しまして〇〇です。今議論したことについてご報告します。

まず、グループ化したということで、グループの中で何を話し合うかということ、皆さんから意見を募りました。それで、今進んでいる工事について話し合おう、水確保について話し合おう、河川管理、毎年行われている河川管理、その都度の小修繕とかについて話し合おう、情報共有の仕方、情報をもう少し早くほしいとか、そういった情報の共有の仕方について話し合おう、そして治水ですね、安全に治水をするということについて話し合おう、そういった色々な意見が出ました。

それで、まとめではないんですけど、例えば河川の生態を生かすということが一番大切でしょう。そのために、それを中心に議題に上げて、治水も考えながら、もちろん洪水になったら溢れるということが絶対にないように、そういった治水も考えながら、河川の生態を生かすことを中心に議論をしていったらどうでしょうか、ということになりました。

例えば、以前工事を行った河床の粘土張りなどの効果があったのかどうかの検証とか、湧水が出ていますので、その湧水がちゃんと河川に出て来るようになっている工事がなされているのかどうか、そのためにはどういった工事をしたらいいとか、情報共有ですね。できるだけ早い情報の提供。河川工事があるということはわかっていますので、その工事を実際にする前に、できるだけ事前に工事情報がほしい。それと、魚を生かす、生物を生かすために、先ほど言った情報共有ですね。できるだけ早い情報共有によって、詳細設計の段階で、生物を生かす、魚を生かすための意見、市民からの意見をできるだけ聞き入れてもらえるような環境、状況にしてほしいというような意見が出ました。

これからも実際、河川工事が、例えば50mm対応70mm対応ということでどんどん上流に向かって行きますので、今は清瀬市内、石田橋で進められています、そういった工事が上流の工事に活かされるようなことになっていけばいいのではないかな、というふうに思っています。

今のところ、まだ途中ですけど、そういった意見が出ていますので、できるだけ自然環境、生物のための河川を残すことをしたいということでした。

(事務局)

ありがとうございます。では、続けて東村山のグループ、お願いします。

(2) 中流：東村山市グループ

(団体委員)

〇〇と申します。東村山の範囲でのグループの話ですけれど、まず、何と何を話をしようかということで、ちょっと以前から問題になっている、水が全然流れないということで、水量確保の問題。それから、ここ2週間か20日くらい、珍しく水がずっと合流点まで途切れていないと、これの原因はということなのか、というのが二番目。それから三番目として、それ以外の問題で、今東村山区域内で、どういったところに問題点、あるいは要望する点があるかと、その三つについて話をしました。

まず水量確保の問題ですけれど、市内をずっと水が流れていないというのは、これはもう皆さん認識されておりまして、どういうふうに水量を確保するかと。5～6年前に、この流連で水量確保の対策というのが10項目上がったのですが、そのうち一番手っ取り早いというか、有効な方法として、多摩川上流水再生センターの高度処理水を何とかして持って来れないかということの検討をしているのですが、「政策的にそれが一番いいんだ」、したがって「どこどこに、どういう形で提案をしたらいいか、誰がやるか」、そういったことはまだ確定されていないけれども、そういう方法があるということが一つ。

それから、中長期、長い時間がかかることですけれども、降った雨を一旦、貯留あるいは浸透するというので、特に東村山は雨水浸透柵の助成（制度）が20年前くらいからあるんですけれども、去年あたりは7件くらいしか実績がない。小金井あたりは50%を超えているんだけど、東村山は5%もっていない。この雨水浸透柵は、これから1時間雨量100mm、150mmあるいは200mmという雨さえ予想されることもあるので、全7万戸に雨水浸透柵を付ければ、流出係数も抑えられる、しかも地下水として涵養して湧水の可能性もあるということで、雨水浸透柵の普及を何とかしてでも早くやってもらえる方法はないか、ということが話し合われました。

そういったことで、この都市河川で、今まで水が流れていない川というのが、けっこうたくさん全国にあるのだと思うんですけれど、「こういうことをやって、こういうふうな実績があった」というところは、実際にあるのかなのか。例えば、野川なんかは、そのうちに入るのか。そういう、もし実績があれば、見学に行って、「こういうふうな対策をして、こういうふうな成果が上がっていますよ」ということを勉強してきたらどうか。もしないのであれば、空堀川を第一号にしたらどうか、ということが話し合われました。

それから、その他の問題ですけれども、絡むんですけれど、今回の台風なんかで、東村山市内については空堀川が溢れて床下・床上浸水になったというようなところはないんだけど、観察した結果、ほとんどの橋でもうぎりぎり橋の下まで水が来ていたということは、逆に言えばかなり上手く計算して川の工事がなされているのかなということにもなるかと思います。将来的にはどういう雨が降るかわからないので、非常に心配は心配だと。現時点ではなかった、前川では少しそういうことがあったけれど、空堀川については溢水という事例はなかったけれど。

それからもう一つは、今、大沼田橋からふれあい橋まで、管理用通路の補修もされているんですけれど、あそこに植栽する場所がけっこうあるので、どういうふうな草木を植えるのか、いつから植えるのか、誰がどういうふうな管理をするのか、そういったことについて、ある程度構想があれば教えていただきたいと。これは東京都の方へのお願いです。

それから最後に、ついこの前の土曜日に、「空堀川に清流を取り戻す会」の主催で、年2回のゴミ拾いをやったんですけれども、ちょうど20年になりまして、今回は41回目でした。それで、参加者

は年々増えていない。まあそんなに減ってはいないのですが、平均すると増えていない、大体横ばい。それに対して捨てられるゴミが、逆に増えているということで、なかなか思うような成果が上がらない。そこで、一つのNPOではなく、行政とか各種団体・学校、それから企業、市民団体、そういった色々なグループに呼びかけて実行委員会方式にしてはどうかということが、ここ半年くらい前から考えられておりました、近々具体的に、どういう規約を作って、どういうところに働きかけるか、ということを検討する段階に入っております。現在、北川は既に実行委員会方式でやっているのですが、それでもあまり成果は上がっていないという話を少し聞いたんですけど、何とかできるだけ。例えば、実行委員に100団体入ってもらえば、各1人でも100人集まる。そういうことで実行委員会方式を検討しております。いずれ、皆さまの方にこの案内がいくと思いますので、その節はぜひ積極的に参加いただいて、ご協力をいただくようお願いいたします。

(事務局)

ありがとうございました。最後に東大和・武蔵村山のグループ、お願いします。

(3) 上流：東大和市・武蔵村山市グループ

(副座長)

時間がないので簡単にご報告いたします。

私どもは〇〇委員の進行のもとで、まず7期のまとめ、これは全体のテーマを網羅しているわけで、これを見た上でさらにどういうテーマで進めるかと、こういうことで議論をいたしました。

大きく言いますと、やはり水涸れ問題ですね。水量確保をどうするかということで、ご意見がいくつかありました。これは、後でまたご説明しますが、それからその他には、河川情報あるいは環境情報の共有化、という意味で市民への啓発イベント、そういったこともテーマの一つとして挙げるべきではないか。啓発の中では、工事情報の共有化も併せてですね。やはり、河川環境をよく知ってもらおうという意味で、そういったことも大事だろうと。

ということもありましたけれど、最も大きく、また時間を割いて議論したのが水涸れ問題ということでもあります。武蔵村山市さんが空堀川の最上流ということで水源地でありますので、この水源を大事にすべきではないか、下流の3市も武蔵村山市さんを支援して、もっともっと大事にするということが重要ではないか。ここで、河川行政の矛盾についても話が出ました。要するに、今は一級河川上流端というようなことで、東京都もそこまでしか管理をしないということになっていて、肝心の水源地が、要するに河川の対象になっていないと、こういうことでもありますから。実は繋がっているわけで、水循環基本法の下でもう一回考え直すべきではないかという議論もございました。それから、具体的には、水源としての番太池、赤坂池があるわけですが、これももっともっと下流の人も知って、大事にする。具体的には、これをかいぼりしたらどうか、そういう議論もすでに上がっているというようなご意見も出たところでもあります。

それからもう一つ、これは大きな議論であるわけですが、河川機能の話が出まして、その中に、もちろん治水は大事だけれども、同時に貯留機能を持たすという意味で、防災・治水のための貯留機能とは別に、河川に安定的に水を流してやるための貯留機能、調節池という格好でもいいでしょうし、色々な言い方があるかもしれないですけど、そういうものをきちっと造ってはどうか、そういうご意見も出たところです。大体そんなところになりましょうか。ですから、東村山グループからも出たように、雨水貯留ということにもつながるわけですから、先ほど聞いていまして、これは具体的な施策としては色々考えられるのではないかなという気がしたところです。

(事務局)

ありがとうございます。ちょうど時間になったんですけど、もう少しだけ時間を延長させていただきたいと思います。時間がないので事務局の方で進めさせていただきます。

本来は、それぞれ発表いただいて、またお互いに対する質問とか意見もいただこうと思ったのですが、今日は時間になってしまいましたので、また次回以降続けたいと思います。どうしても、それぞれ発表したグループに対して、何か質問なり意見を、今ここで発言したいという方がいらっしゃればお受けしたいと思うのですが、いかがでしょうか。

よろしいですか。今日は皆さん初めての試みで、なんとなく探り探りのところがあったと思いますが、次回以降もこれを続けていきたいと考えております。では、本日のメインのグループに分かれての意見交換は終了させていただきたいと思います。どうもありがとうございました。

この後、事務的なことをご報告させていただきたいと思います。

【その他】

(事務局)

今日、配布資料で、〇〇副座長と〇〇委員の方から資料をいただいておりますので、もしよろしければ、簡単にご説明をいただければと思います。では、〇〇副座長から。

(1) 第32回空堀川クリーンアップ写真報告

(副座長)

「第32回空堀川クリーンアップ・2017年11月19日」の写真報告ということで、これはご覧いただければありがたいですが、実は18日土曜日の開催予定であったわけですが、低気圧が通過するというような天気予報で脅かされまして、翌日19日、昨日に順延をいたしました。結果としては、それでも31名の方にお集まりをいただきまして、本日午前中に、東京都さん、それから東大和市さんの職員にもお出ましをいただきながら最終分別を行いまして、今回の結果というところに書いてありますように、合計140kgの可燃ゴミ・不燃ゴミを衛生組合に搬入したということでございます。その他に資源ゴミ。あとは写真をご覧いただければ、昨日の活動状況をご理解いただけるかなというふうに思います。

あとひと言。これは、柳瀬川・空堀川流域連絡会クリーンキャンペーンの一環でやっているもので、その都度できるだけご報告をさせていただいているということで、さらにご理解をいただければと思います。以上でございます。

(事務局)

ありがとうございます。では、続いて東村山の方、お願いします。

(2) 第41回空堀川秋のクリーンアップ! / 第3回空堀川公開勉強会

(都民委員)

東村山の方は裏表(の資料)で、クリーンアップは〇〇さんからご説明がありましたように、通常、東大和と同時開催ということで18日に予定してしまして、東村山の方は午前午後に分かれたりしてやったんですけども、ちょっと参加者が少なく、その割にはけっこうゴミは出てきております。ただ、以前は冷蔵庫とかテレビとか自転車とか、とんでもないものがけっこう出ていたんですけど、今回はそれほど、そういうものは少なかったです。

それから、もう一つは公開勉強会ということで、今まで2回、私どもの会で「空堀川の歴史」という形でやっていたんですけども、今回はもう少しテーマを絞らましようということで、「水がれの原因と対策」ということで11日に行いました。ちょうどこの日、市の産業祭と被ってしまって、少

し日程の設定を間違ってしまったのですが、参加者が30名弱くらいだったんですけども、一応、これのレジュメがあと10部くらい余裕がありますので、もし興味のある方は、こちらに寄っていただければお渡ししたいと思います。これはまあ、私どもの会で考えている原因だとか対策で、他にもあると思うんですけど、参考にしていただけたらと思います。以上です。

(事務局)

ありがとうございます。今の二点について質問などあればお受けしますが。

※なし

(3) 次回開催予定について

(事務局)

事務局から次回の予定について。事務局案ですけども、以前から話が出ていたとおり12月、1月は皆さんも私どもも忙しいので、できれば2月の頭、具体的には2月1、2、5日、木、金、月曜日になりますけれど、その辺りで、もしみなさん特に現時点でご予定がなければ、前回と同じように、次の開催予定をここで決められればと思っていますがいかがでしょうか。一応、ここを候補日にしてありますが、だめならその前後のどこか。ただ市議会とかいろんなことが入ってきてしまいますので、ピンポイントでその辺りしかないかなという事務局の案なんです。

(都民委員)

大体2月は20日過ぎくらいから議会でしょう。

(事務局)

2月はそうです。その準備とか1月頃から入ってきますので。もしここで、「もうこの日は」というのが、今日おられる皆さんの中でなければ、どれかに決めたいと思いますがよろしいですか。

※2月2日だという声がありました

それでは、2月2日金曜日に決めさせていただきます。

(4) 委員の任期延長について

(事務局)

最後になりますが、実は今期の流連は1年半少し前の3月3日から始まっています。本来の規約ですと2年の任期ということではあるのですが、今日やっという形で分かれて具体的な議論が始まったところですので、もしみなさんがご了解であれば、事務局としましては、あと数回、今期については任期を延長させていただけたらと考えております。それで、もちろん当初から2年間というご都合を入れていたので、もうこれ以上参加できないという方はご欠席していただいて構いませんし、その場合でも任期の間は、事務局から資料等を送らせていただこうと考えております。次回、2月2日ですが、その時に「もう私はこれ以上」という方がいらっしゃいましたら、その辺の意思確認もさせていただいて、続けるということでご了解いただければ、役所で言うと年度も変わりますけれど、あと何回くらい延ばすかということも含めて、またお話しさせていただきたいと考えております。今の状況で次回で終わりというのではないかなと、事務局としては考えておりますので、ぜひよろしくお願いいたします。

(5) その他

(団体委員)

「その他」の時間があると思ったから待っていたんですけど、今回、非常に大きな台風の被害があったと思います。それで、まだ整備されていないと思うので、次回の2月の会議の案内の中に、本

当に概要で結構なので、今年の台風の被害の箇所と概要ですね、写真1枚くらいあればいいんですけど、間に合うようでしたら入れておいていただけると。

(事務局)

案内か次回会議の資料として出せるように準備します。

(団体委員)

よろしくをお願いします。

■閉会の辞

※座長より閉会が宣言されました。